

予算委員会 質問要旨

2020年2月4日

立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム

階 猛

1. 賭博行為一般の違法性に関する基本的認識（総理大臣）
2. カジノを含むIRの弊害に対する認識（答弁者はすべて総理大臣）
 - ① 賭博による散財、借金、家庭崩壊（これらは依存症になる前に生じうる）
⇒貸付業務やコンプの規制は具体的にどうなるのか、カジノの利用頻度ではなく利用金額の規制は設けないのか
 - ② 風俗環境の悪化⇒売春、ヤミ金、その他の犯罪の増加を防げるか
 - ③ 日本の財産の国外流出⇒配当原資となる最終利益に規制は設けないのか
2. カジノを含むIRの効果の実現可能性（答弁者はすべて総理大臣）
 - ① 「観光」⇒内外旅行客とその消費額のIR集中で地方の観光地は衰退するのではないか、IRに外国人旅行客が来ても地方に送り出せるか
 - ② 「地域振興」⇒日本型IRは大都市圏でしか成り立たないのではないか、仮に地方に設けたとすると、地元経済にとってマイナスではないか
 - ③ 「雇用創出」⇒そもそも2020年に東京圏への転入超過数をゼロにするという目標はどうなったのか、日本型IRを大都市圏に設けた場合、地方からの人口流出と少子化はさらに加速するのではないか
 - ④ 「観光先進国に引き上げる原動力」⇒そもそも「観光先進国」とは何か、そのような重要な役割を、私益追求のカジノ事業者に担わせてよいのか
3. 基本方針の決定、整備計画の意見におけるIR推進本部の姿勢（総理大臣）

以 上

パネル、資料あり